



平成20年9月18日

各 位

会社名 株式会社 ライフコーポレーション  
 代表者名 代表取締役会長兼CEO 清水 信次  
 (コード番号8194 東証第1部・大証第1部)  
 問合せ先 取締役経本部長 久保 光弘  
 (TEL 03-3979-7160)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月14日の決算発表時に公表しました平成21年2月期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想数値の修正

(1) 平成21年2月期中間業績予想(平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	226,000	4,300	4,000	1,750	34円00銭
今回修正予想(B)	230,100	5,530	5,370	2,870	55円76銭
増減額(B-A)	4,100	1,230	1,370	1,120	
増減率(%)	1.8	28.6	34.3	64.0	
(ご参考) 前期実績 (平成20年2月中間期)	217,007	4,821	4,551	2,303	44円63銭

(2) 平成21年2月期通期業績予想(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	455,000	9,700	9,000	4,300	83円54銭
今回修正予想(B)	460,000	10,500	9,800	5,000	97円14銭
増減額(B-A)	5,000	800	800	700	
増減率(%)	1.1	8.2	8.9	16.3	
(ご参考) 前期実績 (平成20年2月期)	439,606	10,437	9,743	4,278	82円93銭

## 2. 修正の理由

### (1) 中間期について

当期は「第三次中期3カ年計画」の1年目にあたり、新たに「12の課題」を掲げ生産性の向上を目的とした諸施策に着手しております。特に今中間期は食料品の安全・安心の問題、食料品価格の上昇、更には燃料費高騰等による内食回帰が順風となり、既存店の売上高が予想以上に推移し、新規出店6店舗の開業費用をも吸収、増収増益の見込みであります。

営業収益は予想比41億円増加の2,301億円、営業利益は予想比12億30百万円増加の55億30百万円、経常利益は予想比13億70百万円増加の53億70百万円及び中間純利益は予想比11億20百万円増加の28億70百万円となる見込みであります。

### (2) 通期について

通期においては、諸物価の上昇によるコストの増加や給与所得の減少傾向の中、消費者の生活防衛意識の高まり等、外部環境はますます厳しい状況になると思われます。引き続き改善・改革をスピードアップさせ生産性向上に努めて参りますが、下半期では厳しい環境を反映した業績予想をしております。

(注) 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上